□卒業者について、状況別、主たる障害種別に記入します。主たる障害種別とは、当該生徒の在籍していた学級の編制上主たる教育の対象としている障害種別をいいます。卒業者が各区分に重複して該当する場合は、便宜、A→B→C→D→E の順に記入し、重複記入はしないでください。
・本年5 月1 日現在の状況を記入してください。したがって、進学、入学した者が5月1 日までに退学した場合、就職した者が5 月1 日までに退職した場合は進学者、入学者、就職者として扱いません。なお、卒業時から5 月1 日までの状況の変更について把握できない場合は、卒業時の状況を記入してください。

平成　年度　学校基本調査

卒業後の状況調査票（特別支援学校　高等部）（3－1）

―平成　年5月1日現在―

都道府県番号	学校調査番号	

特別支援学校高卒1

（様式第29号）
統計法に基づく基幹統計調査

秘

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

1 学校の所在地	〒100-0000（市区郡）（町村）（番地） 東京都千代田区霞が関○－○－○ 電話（03）（00）0000）	2 (フリガナ) 学校名	文部科学　学校 分校	報告者	校長 氏名 文部 太郎	取扱者 氏名 文科 花子

□廃校となった場合でも、前年度に卒業者がいる場合、本調査票の作成が必要です。
廃校の場合であっても、本項目では「1 本校」又は「2 分校」を前年度の実態によって記入します。

□「F 左記以外の者」のうち、社会福祉施設等に入所又は通っている者の人数を記入します。ただし、「医療機関」には、入院している者のみ記入します。
・児童福祉施設
児童福祉法による児童福祉施設（助産施設、乳児院、母子生活支援施設、保育所、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童更生施設、児童養護施設及び児童家庭支援センターを除く。）
・障害者支援施設等障害者自立支援法による「障害福祉サービス」を提供している施設。また、従来の「更生施設」、「授産施設」から当該サービスを提供する施設へ移行された施設。なお、在宅で障害福祉サービスを利用している者については計上しません。
・医療機関
国立病院、指定発達支援医療機関、診療所等に入院している者（ただし、6か月未満の短期療養を目的とする者を除く。

□家事手伝いをしている者、外国の学校に入学した者、左記A～E に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者の数を記入します。

□「就職」とは、給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めますが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者には含めません。（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱います。）

□卒業者のうち、左記各欄のいずれに該当するか不明の者、卒業後本年5 月1 日までに死亡した者。

□「5」に計上した卒業者のうち、大学（学部）又は短期大学（本科）へ願書を提出した者（就職して願書を提出したものを含む）の実数を記入します。
同一人が2 校（学部・学科）以上に願書を提出した場合も、1 名として記入します。
例えば、同一人が2 校（学部・学科）に入学を志願して、そのいくつかの学校（学部・学科）に合格した場合は、実際に進学した方に記入し、いずれの学校（学部・学科）にも不合格の場合は、第一志望の方に記入します。

□前年3 月以前の本科卒業のうち本年度大学（学部）又は短期大学（本科）へ入学を志願した者の実数を、前年3 月卒業者（いわゆる1 浪）と前々年3 月以前卒業者（いわゆる2 浪以上）の別に記入します。
なお、入学志願者の記入の方法については、「6」の項目の説明を参照してください。

所在地の市町村番号	3 設置者別	4 本校分校別
※ 6 0 1 0 2 0 1	1 国立 2 公立 3 私立 → 1（該当する項の番号を記入する。）	1 本校 2 分校 → 1（該当する項の番号を記入する。）

「5」の主たる障害種別の番号

障害種別	番号
視覚障害	1
聴覚障害	2
知的障害	3
肢体不自由	4
病弱・身体虚弱	5

1　本校と分校（正規の手続を完了したもの。）ごとに調
取りまとめ、校長から提出する。
2　数字は、□ の中に一字ずつ、右側につめて記入する。
3　
一
4　
す

□当該生徒の在籍していた学級の編制上主たる教育の対象としている障害種別の数字を記入します。

□主たる障害種別が「3 知的障害」、「4 肢体不自由」及び「5 病弱・身体虚弱」の場合、学科番号は大分類を記入します。
例えば、農業科であれば「201」（小分類）ではなく、「200」（大分類）を記入します。

5　状況別卒業者数（平成　年3月の本科卒業者。専攻科、別科及び通信制課程の修了者は除く。）

学科名	学科番号	主たる障害種別	男女別	A 大学等進学者：大学（学部）	短期大学（本科）	大学・短期大学の通信教育部及び放送大学	大学・短期大学（別科）	高等学校（専攻科）	特別支援学校高等部（専攻科）	B 専修学校（専門課程）進学者	C 専修学校（一般課程）等入学者：専修学校（一般課程）等	各種学校	D 公共職業能力開発施設等入学者	E 就職者（左記A，B，C，Dを除く。）	F 左記以外の者	G 不詳・死亡の者	計（卒業者総数）
科	1 0 0	3	男	1									3	a 2	3		9
	1 0 0	3	女		2								1	f 1	2		6
科	7 0 3 0		男														
	7 0 4 0		女														
科	7 0 5 0		男														
	7 0 6 0		女														
科	7 0 7 0		男														
	7 0 8 0		女														
科	7 0 9 0		男														
	7 1 0 0		女														
科	7 1 1 0		男														
	7 1 2 0		女														
計	7 2 1 0	9 9 9	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	3	0	9
	7 2 2 0	9 9 9	女	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	6
	※7 2 3 0	9 9 9	計	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	3	5	0	15

（再掲）

学科番号	男女別	左記A，B，C，Dのうち就職している者：Aのうち	Bのうち	Cのうち	Dのうち	左記Fのうち社会福祉施設等入所，通所者：児童福祉施設	障害者支援施設等	支援事業のうち就労系	医療機関
1 0 0	男	b 2	c	d	e		3		
1 0 0	女	k 1	h	i	j 1		2		
9 9 9	男	0	0	0	0	0	3	0	0
9 9 9	女	0	0	0	1	0	2	0	0
9 9 9	計	0	0	0	1	0	5	0	0

学科番号	男女別	6「5」卒業者総数のうち大学（学部）への入学志願者数（再掲）：大学（学部）	短期大学（本科）	7 平成　年3月以前卒業者のうち本年度大学(学部)，短期大学（本科）への入学志願者数：平成　年3月卒業者 大学（学部）	短期大学（本科）	平成　年3月以前卒業者 大学（学部）	短期大学（本科）
1 0 0	男	1		1			
1 0 0	女		2				
9 9 9	男	1	0	1	0	0	0
9 9 9	女	0	2	0	0	0	0
9 9 9	計	1	2	1	0	0	0

□「5 状況別卒業者数」のうち、「E 就職者」と「（再掲）左記A，B，C，D のうち就職している者」について、「卒業後の状況調査票（特別支援学校 高等部）(3-2)～(3-3)」に産業別・職業別・都道府県別に就職状況を記入します。

□「障害者支援施設等」に記入した者のうち、障害者総合支援法における就労系障害福祉サービス（就労移行支援事業、就労継続支援A型事業、就労継続支援B型事業）を利用している者を記入します。

文部科学省